

日刊

# 産業新聞

Japan Metal Bulletin

2025年(令和7年)

6月18日(水)

第21195号  
Since1936

発行所 産業新聞社

東京本社 東京都中央区新川1-16-14  
TEL 03(5566)8772  
FAX 03(5566)8182  
編集局(本誌部) TEL 03(5566)8778  
FAX 03(5566)8185  
経理販売部(購読部) TEL 03(5566)8778  
FAX 03(5566)8185  
大阪本社 大阪市西区阿波野1-3-15  
TEL 06(7733)7001  
FAX 06(7733)7070

## リサイクル機械工業会設立

### 富山3社 資源の有効利用追求

富山県のリサイクル機械メーカー3社は、このほど、「一般社団法人リサイクル機械工業会」を設立した。各社が得意とするノウハウを持ち寄り活用することで、資源の有効利用を追求し、持続可能な社会の構築に寄与する機械装置を提供する。代表理事に就任したエムダイヤ・滑川市の森弘吉社長は、「リサイクル機械(特化した)業界団体はおそらく日本初」と説明する。

### ノウハウ持ち寄り活用

エムダイヤ、佐藤鉄工(立山町)、坂本良文(富山県)の3社が発起人となる5月、リサイクル機械工業会を設立。発起人3社が集まり、17日に富山市内で設立記者会見を開いた。

森代表理事は「世界的に環境問題への対応が急務になっており、廃棄物の有効活用や資源循環の仕組みづくりが

これまで以上に求められている」と指摘。「1社単独ではこれらの社会課題に対応するには限界がある。3社が強みとノウハウを持ち寄り、業界の垣根を越えて新たなステージに進む」と説明した。

具体的な活動については3点を挙げた。1つ目は営業案件や販売

する方針だ。エムダイヤは「エコセパレ分選破砕機」をはじめとする独自技術で、主に自動車や家電、製錬、電線といったスカー系リサイクル企業にリサイクル機械を納入している。佐藤鉄工は橋梁や水門などの鋼構造物のほか、船舶のリサイクル用破砕機「クロスフローシュレッター」などのリサイクル機械を製造・販売。リコーは世界10カ国20社と代理店契約を結び、採掘性の高い大型のリサイクル機械を日本に導入。それらを組み合わせたリサイクルプラントを構築している。

協力を通じた人的交流と情報共有だ。会員の

中で森代表理事は「まずは各社の製造の特長を把握するため、社員を合わせた勉強会を実施する」と話した。将来は県会への共同出展なども計画する。

補助金や支援制度への対応も行う。個別の企業で対応するより業界団体として組織的に対応する方が内情に込めることができる。富山県や国などの行政機関とも連携を図り迅速に対応する。共同での求人活動も視野に入れている。地方の人口減少は深刻だ。このため日本人だけでなく外国人材も含めて将来的に共同で採用できないか検討



設立発起人3社トップ(左から坂本氏、森氏、高野氏)